

地域連携協働NEWS

福島県教育庁南会津教育事務所 総務社会教育課

Ⅰ 地域と連携して自然体験活動 ～朝日小学校～

7月16日(金)朝日小学校「なかよし活動」の“川遊び”を訪問しました。今回も朝日振興センター、朝日地区地域づくり委員会の強力なバックアップのもとで行われ、梅雨明け初日の夏空には、児童の歓声が響き渡っていました。

この日のメニューは、「イワナつかみどり」「川の生き物さがし」「川流れ」です。児童は縦割り班で編成され、上級生が下級生の面庞を見るお馴染みの光景。先生方は安全確保に余念がありません。



【ライフジャケット装着点検】



【縦割り班で活動】



【追い込み作戦成功】



【えっ一度に4匹も!もしかして名人?】



【川の流りに身をまかせ♪】



【委員会の方と先生が安全確保】



まずは振興センター長さんの注意をよく聞きます。



放流やテントの準備などの細かい配慮で地域づくり委員会の方々が支えています。

例年実施されるこの川遊びは、児童や先生はもちろん、地域の方々も楽しみにしています。地域づくり委員会の目黒さんは「せっかくの地元の自然を楽しんでもらいたい」と笑顔でおっしゃっていました。行事の段取りや安全面等、細かい配慮がありがたいです。

地域づくり委員会では、この他にも「昔話の伝承」「ふれあい運動会」「朝日いいもの集めちゃった市」などを主催し、地域の子供たちに向けた取組を行っています。

地域をよく知る方々から、地域の伝統や歴史、自然などを学ぶことは、児童にとってたいへん貴重な体験となります。そして労を惜しまず協力してくれる方々がそこにいることは、たいへんありがたいことです。

郷土を愛し、郷土を誇りに思う児童を育て、成長した児童たちが、やがて地元に戻ってくる。そのような教育を地域総がかりで行いたいものですね。

<朝日小学校地域連携担当教職員 大西賢児 先生>

「すごく冷たかった」「流れがとても速くてすごかった」と、黒谷川の特徴を存分に味わった子供たち。カジカガエルの鳴き声に耳を傾け、日向ぼっこしているカエルを探し、最近みかけなくなったカジカの稚魚も捕まえました。只見の豊かな自然を支える清流。川は海へとつながり、やがてまた只見に帰ってきます。子供たちは五感を総動員して貴重な体験ができました。すばらしい機会をサポートしていただいた地域の皆様に心より感謝申し上げます。